

## ○「想像力」を働かせて

今、コロナウィルスに対し、日本や世界が必死に闘っている中で、学校現場でも休校措置がとられています。その中で君たちは、友達に会えない、体を十分に動かせない、学習が心配など、出口の見えない闘いに大きな不安を抱えていると思います。だからこそ、みんなの「生きる力」が試されていると思います。

まずは、現状を受け入れることが大切です。そして、その中で積極的に自分から動くことが大切です。必ず、この現状は変わっていきます。学校や社会全体が元の生活に戻った時、成長した姿を期待しています。「想像力」を働かせ、「何が出来るのか？」を常に問いかけ、成長してほしいと思います。今だからこそ、自分のためにたくさんの時間を使い、なりたい自分になろう。失敗も成功も、全てが自分の力になることを信じて、まずは動いてみよう。

先生方もみんなと共に、学校生活を送れる日々が来ることを楽しみにしています。

## ○先生方からのメッセージ 今週は佐藤先生

最近、ふと考えたこと、人に優しくされると本当にうれしいということ。当たり前のように聞かせるけど、実感した人にしかわからない。「ホッとする感覚」「温かくなる心」「集団の所属感、安心感」

こんな状況だから不安な気持ちでいっぱいです。普段の学校生活では、みんなに「頑張っ  
てね!」「元気出して!」「切り替えていこう!」なんて言いながら、いざ、自分がその立場に立って  
みると、なかなか気持ちの切り替えなんてできないなって気がつきます。

いろいろなことを考えながら、朝、職員室に入るとたくさん声をかけられます。「おはようござ  
います」「今日は～をしましょう!」「今日も頑張ろう!」学年の先生方の元気に救われます。金子  
先生も曾合先生も澤谷先生も濱野先生も中田先生もみんな元気です。

改めて感じます。チームに所属しているということ。そしてそれはすごく大きなものだというこ  
と。一人だと頑張りがきれないことも、みんながいるから頑張れる。一人では不安で押しつぶされそ  
うなときも、みんながいるから安心できる。乗り越えられる。家族、友達、先輩、後輩、自分を大  
切に思ってくれる人がいる「安心感」「幸せ」。

人の優しさや思いやりに理由はないと思います。きっとバトンのようなもので、人に優しくされたから次の人に優しくする。その繰り返しで人は生活しています。

こんな状況だから、自分ができる精一杯のことを。みんなが一人ひとり本当に人を思いやる行動を。更に成長した元気なみんなに会うことを3学年職員一同楽しみにしています。

